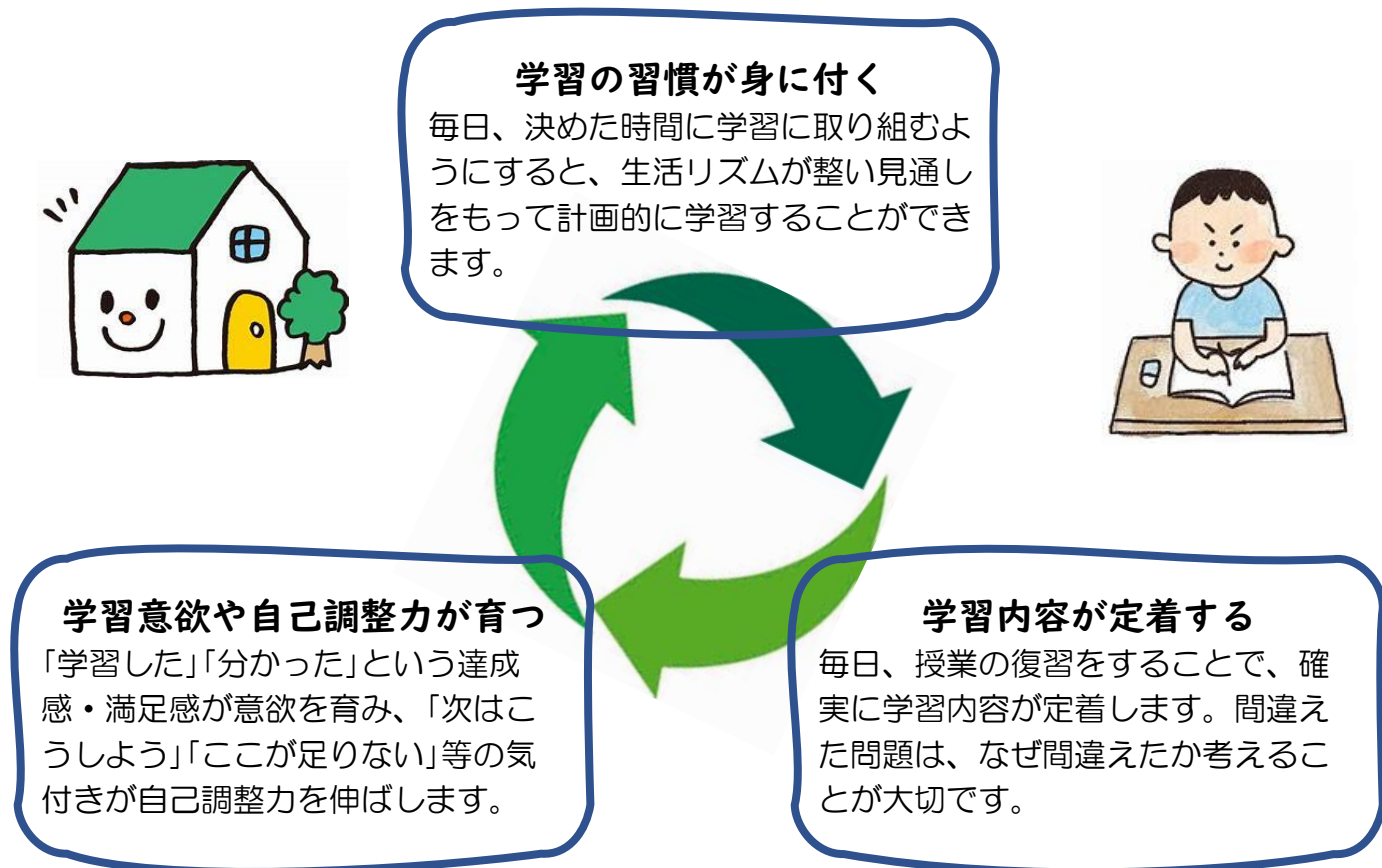


確かな学力を育む 家庭学習のすすめ

小平市教育委員会では、将来自立し、未来の社会を切り拓きながら生きていくために、自分で考え、判断し、行動できる児童の育成を目指しています。そこで、主体的な学びの実現に向けた手だての一つとして家庭学習に着目しています。

また、子供たちの確かな学力を育むには、学校の授業における学習が中心的な役割を担っていますが、家庭学習の習慣化や充実がとても大切です。改めて家庭学習の意義や時間、取組事例等を紹介するので、こちらを参考に家庭学習を見直してみてください。

1 家庭学習の意義



※子どもが学ぶ楽しさを実感することが一番です。家庭学習に取り組めたときには、がんばりを認め、賞賛することで「次もがんばろう」という気持ちをもつことができます。「結果」だけでなく「思い」を認めましょう。

(裏面へ)

2 家庭学習の時間や内容・取組事例

(1) 学習時間 「学年」×「10分」が目安です。

(2) 内容・取組事例

①まずは、宿題に取り組む

②余裕があれば授業の復習をする

- ・学校の授業で学習した各教科のノートを見直し、大切な「ポイント」や自分の「気付き」等を書き込んで、ノートを充実させる。

③または、下のような自主学習に取り組む

- ・自主学習ノートを作ることをお勧めします。
- ・学習者用端末を持ち帰る日は、ぜひ活用してください。



低学年 10分～20分	教科等	中学年 30分～40分	高学年 50分～60分
・熟語づくり ・テーマごとの言葉集め ・日記を書く ・お話をつくる ・新出漢字の短文づくり	国語	・漢字の成り立ち調べ ・辞書を使って意味調べ ・詩や俳句づくり ・読書記録、本のおすすめ文を書く	・部首別の漢字集め ・ことわざ、四字熟語 ・読書感想文を書く ・新聞記事やニュースの要約や意見文を書く
・たし算、ひき算、かけ算 ・形集め ・文章問題づくり ・式を図に表す	算数	・かけ算、わり算 ・くらしの中の数量を四則計算に表す ・テープ図や線分図に表す ・三角定規、コンパスを使う	・2つの量を2本の数直線に表す ・図形をかく ・身の回りの数量をグラフや表に表す
・生き物の観察 ・季節の変化に気付く ・家の周りの地図をかく	生活・社会・理科	・小平市や東京都調べ ・地図記号 ・重さ調べ ・月や星の観察	・世界の国々や産業等を調べ、グラフや文章に表す。 ・実験し、予想や考察を書く
	外国語	・身の回りにあるアルファベットを集める	・簡単なスピーチをする ・学習者用端末等で発音を聞いて、リピートする
・縄跳びや鉄棒、鬼ごっこ等、運動を楽しむ	体育	・体を動かし、その運動のポイントを考える	・体を動かし、運動のポイントの伝え方を考える
・リズムや歌を楽しむ	音楽	・歌唱や楽器の練習をする ・曲を聞いて特徴をつかむ	・短い曲をつくる
・描く ・切る ・貼る	図工	・色や形を楽しむ	・デザイン ・デッサン
	家庭		・よりよい生活のための実践を記録する
	総合	・自分で課題を見つけ、教科横断的な探求的学びを行い、表現する	
・授業の学びを振り返る	道徳	・授業で学んだ道徳的価値について考えを深める。	

